

日時：7月27日(水) 16:40 - 18:10

会場：志高館 SK119 教室

ゴスペルソングとブルーズ

歌詞研究の立場から

ウェルズ恵子 立命館大学 教授

専門:アメリカ黒人文化、19世紀・20世紀アメリカ文化・文学、ヴァナキュラー文学（民話・民謡）、比較文化・文学、音楽文化、英語詩。2011年『狼女物語』ほかで日本比較生活文化学会・亀井俊介賞受賞。

- 著書
- ・『アメリカを歌で知る』 祥伝社新書
 - ・『魂をゆさぶる歌に出会う：アメリカ黒人文化のルーツへ』 岩波書店
 - ・『黒人霊歌は生きている：歌詞で読むアメリカ』 岩波書店
 - ・『狼女物語』 工作舎 他多数



黒人霊歌やゴスペルソングは神の歌、ブルーズは悪魔の歌として知られている。その区別は本質的に妥当なのか。それとも後付けされたカテゴリーが導いた展開なのか。また、この二つはどこで隔たり、どこで接触しているのか。歌詞分析と「声の文化」という視点からアプローチ。

来聴歓迎
予約不要

同志社大学アメリカ研究所

tel. 075-251-4900

ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp